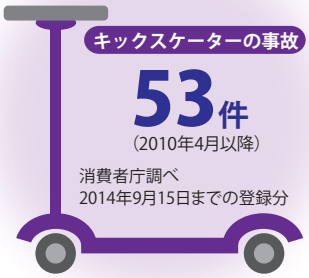
生活用品
事故事例
No.12

生活関連事故品ファイル

キックスケーターの事故について

キックスケーターの事故は、2010年4月以降の約5年で53件
(消費者庁調べ　2014年9月15日までの登録分)寄せられており、
中には死亡や骨折など被害が大きかったケースも見られます。
消費者庁ではヘルメットなどの防護具着用や、安全な場所での使用、
取扱説明書をよく読み正しい乗り方をする等、注意喚起をしています。
キックスケーターに関しては、一般財団法人製品安全協会が、
ボード系ホイール付き走行ギアについてSG基準を定めており、
基準に適合した商品にはSGマークが貼付されています。
今回は、キックスケーターの事故事例から、事前に安全性を
確認する試験を紹介します。



接合部分の外れ

購入後、２～３回走行したところ、デッキ部とハンドル部の
接合部分が外れた。

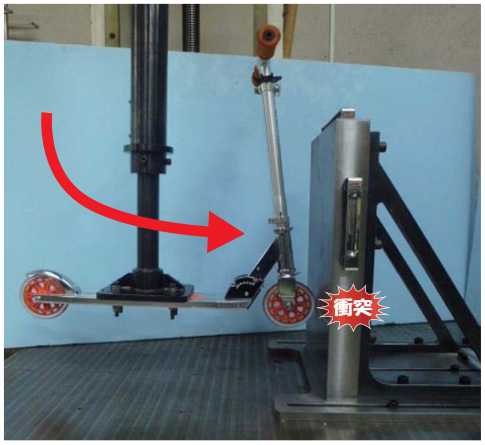
原因　溶接のスピードが速すぎたため、溶け込み不良で強度が不足し、
溶接部が外れたものと推定される。

水平衝撃強度　SG CPSA 0101

試験方法

走行ギアに適当な質量の重すいを装着し、支柱を軸にしながら振り子状に振り落とすことにより試験用壁に衝突させ、表 (以下) の衝撃エネルギーを加える。

形式分類	衝撃エネルギー
幼児用	38 J
子供用・一般用	135 J



判定基準

使用上支障のある破損がないこと。

納期・費用につきましては、製品や素材により異なります。詳しい検査項目、料金につきましてはお気軽にお問い合わせください。

一般財団法人 ボーケン品質評価機構

大阪事業所　生活用品試験センター　TEL:06-6762-5492／FAX:06-6762-5894
東京事業所　生活用品試験センター　TEL:03-5669-1382／FAX:03-5669-1387